

国立大入試出願状況 27日午前10時現在 一文部科学省集計

原則として学部ごとにまとめた。「前」は前期日程、「後」は後期日程。試験は前期が2月25日から、後期が3月12日以降。「中」は公立大の中期日程を示し、試験は3月8日以降に実施する。

「第1次選抜倍率」は、志願者が多い時に大学入試センター試験(七試)の得点で2次試験の受験者数を絞り込む

2段階選抜を予定している大学で、募集人員の何倍まで2次試験を受けられるかを示す。学科で倍率や必要な得点異なる場合は3.5(倍)〜5(倍)などと示し、例えば2段階選抜でセンター試験900点満点中630点以上が対象の場合は「七試630」と記した。

注①名古屋大医学部・後期は、七試720以上で募集人員の8倍。注②京大医学部・前期は七試630以上で募集人員の3倍。注③大阪大医学部・前期は七試720

以上で募集人員の2.6倍。注④徳島大医学部・前期は七試600以上で募集人員の5倍。注⑤⑥長崎大文化社会学部は、七試の外国語の得点率(前期80%以上、後期85%以上)いずれも変更の場合あり、またはTOEFL PBT500点(ibt 61点)以上、TOEFL Junior Compr

ehensive341点以上、TOEIC730点以上、TOEIC+TOEIC S&W1000点以上、英検準1級以上、IELTS5.5以上、GTEC for STUDENTS (L&R&W) 700点以上、GTEC for STU DENTS (L&R&W) + (S) 850点以上もしくはGTEC CBT1040点以上で出願時に申請した者。

大学・学部

国立大学

Table listing various universities and departments with columns for enrollment numbers and ratios.

道内2次試験中間志願状況

今春の国立大入試の2次試験で、道内12大学の中間出願状況が27日まとまった。総募集人員5299人に対し、同日午前10時現在で

出願したのは5524人で、平均倍率は1.0倍だった。(22、23面に全国状況) 学部学科別で倍率が科に再編された北見工

大工学部は地域未来デザイン工学科後期が1.1倍と唯一、募集を上回った。北海道大は募集人員2426人に対して527人が出願し、倍率は前期日程が2.1倍、後期日程が0.8倍。北海道大は募集人員919人に対し549人が出願し

前期が0.5倍、後期が0.9倍。川医大は予定倍率を超えた場合、センター試験の得点で受験者数を絞る段階選抜を行うが、現時点では予定を超えた学部学科はなかった。願書は2月1日まで受け付ける。

【野野淳】

国立大中間志願状況

Large table showing enrollment statistics for national universities, including columns for dates, enrollment numbers, ratios, and department names.

国立大2次入試 志願倍率0.9倍

文部科学省は27日、国立大の2次試験志願状況の中間集計を発表した。同日午前10時現在の志願者数は昨年同期より1万2911人少ない9万2182人で、募集人員に対する倍率は0.11減の0.9倍となった。出願は2月1日まで。

(22、23面に特集) 志願者は、国立大(82大学389学部)が6万9466人、公立大(84大学178学部)が2万2716人。独自日程で試験を実施する国際教養大(秋田県)と新潟県立大は含んでいない。学部別で志願倍率が高いのは、前期日程の国立大では東京芸大美術の3.8倍、東京工業大第5類の3.0倍。公立大では首都大学東京都市環境の2.4倍などだった。昨年の確定志願者数は47万1644人で、倍率は4.7倍だった。

若手演奏はつらつと

小樽で管弦楽コンサート

【小樽】小樽や札幌、室蘭などの小中高生から社会人までの若手奏者が集まって楽団を結成し、演奏する「第1回ユース管弦楽コンサート in 小樽」が28日、小樽市民センター・マリナーホールで開かれた。若手46人が練習の成果をばつらつと披露した。

若手同士で演奏することで刺激を感じてほしいと、今回指揮者を務めた小樽市の会社社長丹治宏剛さん(42)らが初めて企画。小樽商大室内管弦楽団や北大交響楽団のメンバー、知人らに呼び掛け、46人からなるユース管弦楽団を発足させ、第1回演奏会に臨んだ。



モーツァルトのバイオリン協奏曲第5番「トルコ風」やメンデルスゾーンの交響曲第4番「イタリア」など5曲を演奏した。

丹治さんは「若いエネルギーが感じられる音楽ができた。今後も1年に1度くらい、演奏会を開いていきたい」と話した。(中野訓)

若手奏者らはばつらつと演奏した「第1回ユース管弦楽コンサート in 小樽」

小樽ジャーナル 29年1月28日

若手奏者が集結！ユース管弦楽コンサート (2017/01/28)

ツイート

冬の小樽に若手奏者が集結して、第1回ユース管弦楽コンサート in 小樽を、1月28日(土)14:30から小樽市民センター(色内2)マリナーホールで開き、市民ら約130名のクラシックファンを魅了した。

向上心溢れる若手奏者が、普段の練習環境を飛び出して集い、音楽の多様性や新たな刺激を感じることで、今後の演奏活動に生かしていくことを目的に、同実行委員会(指揮:丹治宏剛代表)を立ち上げ、初開催された。



既存のオーケストラではなく、それぞれが在籍するオーケストラを抜出し、小学6年生から成人まで46名が出演。小樽・札幌・室蘭で練習に励み、今日の日を迎えた。

見どころは、モーツァルト作曲のヴァイオリン協奏曲の中で、30分程度と最も長い、ヴァイオリン協奏曲第5番KV219「トルコ風」を、中学生と高校生の3名が楽章を分担して、ソロ演奏に挑戦した。



第1楽章を堂向修央さん(札幌南校2年)、第2楽章を齊藤優織さん(札幌南校1年)、第3楽章を丹治指揮者の息子・丹治龍君(松ヶ枝中1年)が担当。オーケストラをバックに3名のソリストは、堂々とヴァイオリンを演奏し、カデンツァ(自由に即興的な演奏をすること)も披露した。

会場は大きな拍手に包まれ、ヨハン・シュトラウス2世「喜歌劇(オペレッタ)「こうもり」序曲や、メンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」など、アンコールを含めて7曲を演奏。2時間ほどの生演奏を楽しんだ。来場者は、「素晴らしかったです」と満足した様子で会場を後にした。

関係者は、「今後は、ピアノコンチェルトやバレエとの共演などにもチャレンジしていきたい」と話した。

第1回 ユース管弦楽コンサート in 小樽

～冬の小樽で若手埋めくクラシック音楽を～

本コンサートは、向上心溢れる若手奏者が普段の練習環境を飛び出して集い、音楽の多様性や新たな刺激を感じることで、今後の演奏活動に生かしていくことを目的として開催するものです。

2017年1月28日(土)

14時開演 14時30分開演

小樽マリナーホール
(小樽市民センター・色内2) (小樽駅から徒歩15分)

入場料 1,000円
中学生以下 無料



指揮 丹治 宏剛



ソリスト 丹治 龍君



ソリスト 齊藤 優織

ソリスト 堂向 修央

ソリスト 齊藤 優織

ソリスト 丹治 龍君

ソリスト 丹治 龍君

ソリスト 齊藤 優織

ソリスト 堂向 修央

2017年1月

シトラス2世/喜歌劇「こうもり」序曲
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番KV219「トルコ風」
メンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」ほか

入場券おかりの受付は1月28日(土)のみ14時(日)まで開催されます。

主催 ユース管弦楽コンサート実行委員会 協賛 小樽商大学生会 後援 小樽市民センター 小樽市教育委員会
〒060-0801 小樽市色内2-1-1 小樽市民センター 小樽市教育委員会
www.youthorchestra.jp 0134-91-0021 info@yoc.jp